

Fig.1 *Catoptria nana* OKANO (Forewing length 1.1cm.) Fig.2 *Catoptria pseudodiplogrammus* OKANO (1.2cm.) Fig.3 *Calamotropha brevistrigella* CARADJA (1.2cm.) Fig.4 *Platytes ornatella* LEECH (0.8cm.) Fig.5 *Macrauzata maxima maxima* INOUE (2.8cm.) Fig.6 *Lithocaris maxima* LEECH (3.0cm.) Fig.7 *Saronaga japonica* OKANO (1.7cm.) Fig.8 *Pheosia fusiformis* MATSUMURA (2.7cm.) Fig.9 *Lophopteryx kuwayamae* MATSUMURA (1.7cm.) Fig.10 *Gadirtha inexacta uniformis* WARREN (2.3cm.) Fig.11 *Apatele catocaloidea* GRAESER (2.2cm.)

### 他山の石 (23)

磐瀬 太郎<sup>1)</sup>

Lessons from Here and There (23) By TARO IWASE

(23) **Riodinidae** シジミタテハ科の食草と蜜腺：この科の幼虫と蛹については、他山の石(8), 1954に簡単に紹介して以来10年、インド、北アメリカ、南アメ

リカ(ブラジル、ウルガイ、アルゼンチン)などの資料を少しずつ見ることが出来たのでまとめておく。

インドでの食草(主として SEVASTOPULO による)

1) 東京都文京区湯島新花町 4

1. *Zemeros flegyas indicus* FRUSTORFER は *Maesa chisia* DON, *M. montana* (イズセンリョウ属, ヤブコウジ科). 卵, 幼虫は単独性
2. *Dodona ouida* MOORE は *Maesa chisia*, 卵, 幼虫は集合性
3. *D. adonira* HEWITSON は *Maesa chisia*
4. *Abisara fylla* DOUBLEDAY は *Maesa chisia*

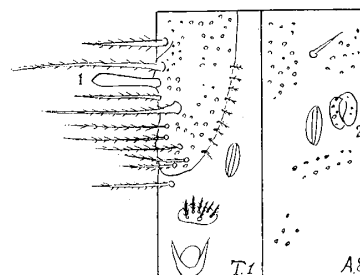
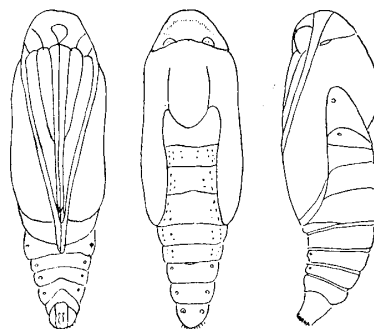
なお *D. eugens* (シジミタテハ) は食草タケといわれていたが, CORBET (マレー) によれば, やはり *Maesa* である. しかし BAILEY はネパールで母虫が食草の木の様な茎 woody stalk に産卵したと記している. *A. echeris* (オキナワシジミタテハ) も食草はヤブコウジ科の *Embelia* と *Ardisia* (= *Bladhia*) (モクタチバナ属・アマミウラナミシジミの食草) である.

#### 北アメリカでの食草 (主として EHRlich による)

1. *Apodemia nais* EDWARDS は *Prunus* (野生のスモモ, バラ科)
2. *A. palmeri* EDWARDS は *Beloperone californica* (コエビスウ属, キツネノマゴ科)
3. *A. mormo* FELDER et FELDER は *Atriplex*, *Eriogonum* (共にキク科)
4. *Calephelis wrighti* HOLLAND は *Bebbia juncea* (キク科)
5. *C. muticum* McALPINE は *Cirsium muticum* (アザミ属, キク科)
6. *C. borealis* GROTE et ROBINSON は *Senecio obovatus* (サワギク属, キク科)
7. *C. nemesis* EDWARDS は *Clematis drummondii* (セニンソウ属, キンボウゲ科), *Baccharis glutinosa* (キク科)

#### 南アメリカでの食草 (主として COSTA LIMA, BIEZANKO による)

1. *Euselasia eucerus* HEWITSON は *Psidium cattleianum* (パンジロウ), *Eugenia uniflora* L. (フトモモ) (共にフトモモ科)
2. *E. euboea* HEWITSON は *Stenocalyx pitanga* BERG. (フトモモ科)
3. *Emesis mandana* CRAMER は *Ficus carica* L. (イチジク, クワ科), *Ricinus communis* L. (ヒマ, トウダイグサ科). アリと共生
4. *Anatole* (= *Napaea*) *nepos* FABRICIUS は *Oncidi-*



*Hamearis susanae* ORFILA  
(BOURQUIN より)

- uu crispum* LODD., *O. pumilum* LINDL. (ラン科)
5. *Hamearis epulus signata* STICHEL は *Vicia graminea* (マメ科). アカカミアリ *Solenopsis* と共生. ヨーロッパ唯一のシジミタテハ *H. lucina* の食草はサクラソウ科
  6. *H. campestris* BATES は *Licania rigida* (ブラジル名 oiticia) (バラ科)
  7. *H. susanae* ORFILA は *Asclepias campestris* DESCAISNE (トウワタ属, トウワタ科). オオアリ *Camponotus punctulatus* MAYR. と共生

**蜜腺の所在** ベノス・アイレス州での観察によれば *H. susanae* の幼虫は, 終令 (5 令) で体長 20.2 ミリ, 最大巾 5.05 ミリ, 頭巾 2.05 ミリ, ワラジムシ型である. 前胸に剛毛を持ち, その中に 1 対の棍棒状の突起 (図中 1) があり, また第 8 腹節にも 1 対の伸縮突起 (図中 2) がある. とともに透明な液を出し, オオアリが好んで集るが, 体表全面からも液は分泌するらしい. 年 3 回発生, 蛹越冬. 蛹は食草トウワタの根本, 地下 5~10 センチの深さに集合して作られる. 長さ 14.5 ミリ, 巾 4.7 ミリ. 卵も食草の茎に塊状に産付され, 形はシジミチョウ科に似ている. 直径 0.75 ミリ. (FERNAND BOURQUIN による) (18/III 1963)